

# Mighty Checker ニュースレター Vol. 1

(2007年11月号)

この度、東邦大学医療センター佐倉病院様のご協力により、レセプト点検ソフト「Mighty Checker」のご活用事例をご紹介しますこととなりました。皆様のご参考になれば幸いです。

ご協力いただいた方：佐倉病院事務部医事課長 三上 彰氏、係長 勝又 亮氏、主任 北川映子氏

## 1. 効果

医事課及び医師のレセプト点検に関する業務軽減が図れました。

Q. 具体的には？

### 医師業務の8割軽減

医師のレセプト点検の作業は今までの2割程度と大幅に減少しました。

マイティーチェッカー導入以前は医師に全点検を依頼していましたが、今は医師に依頼する病名点検と医事課が行う医事会計・コメント入力などが明確になり、医師の点検分を減少することができました。

### 医事課業務の効率化

査定率は導入前から低かったのであまり変化はありませんでしたが(約0.05%)、作業に係る人員は、2005年3月まで15名 現在12名に減少しました。医事課の残業減少時間は、月平均5時間位です。他の業務との兼務のため、実際の効果はより大きいと思います。

## 2. 成功の秘訣

Q. 「マイティーチェッカー」で成功した秘訣は？

ポイントは以下の2つです。

ワープロ病名から標準病名の切り替えの際に、医師の同意が得られたこと

カスタマイズ機能をフルに利用し、医事課及び医師のレセプト点検枚数を減らしたこと

病名の統一については、磁気レセプト化実施時期及びオーダリングシステム導入時に行いました。具体的には以下の通りです。

・基幹システムにおいて、薬剤及び検体の一部について該当病名がない場合、標準病名を選択できるようになっており、検索モードではカナ検索及び略称検索が可能。

## 1. きっかけ

Q. 「マイティーチェッカー」を知ったきっかけは？

営業の方が来られたのがきっかけと思います。

Q. レセプト点検システム導入の目的は？

オーダリングシステム導入に向け準備室を作り、レセプトチェックシステムも検討項目にしました。

### 医師の業務軽減

医師が基幹システムでオーダーする際、病名登録の入力をするにより、レセプト点検システムの警告枚数が減少し、医師の業務の軽減を見込みました。

### 医事課の業務軽減

以前から、医事課のレセプト点検に関する時間外増の問題があり、このシステム導入により医事課業務軽減を見込みました。

## 2. 導入

Q. レセプトシステム導入時点での目標は？

外来レセプトについて - 警告分だけの確認ですますようにする。

最終的には医事課のレセプト点検時に、病院独自の事情をマイティーチェッカーに組み込むのではなく、査定・返戻時に組み込むか否か判断していく。

入院レセプトについて - 極力点検枚数が減少するように検討する。

Q. レセプトチェックシステムとして、「マイティーチェッカー」を選定された理由は？

某レセプト点検ソフトと料金を比較した場合の、安さが決め手でした。

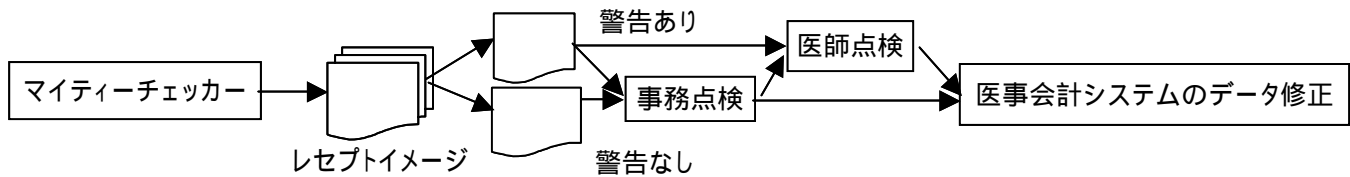
## 3. 運用

Q. マイティーチェッカーとデータをやりとりするオーダリングシステムや医事会計システムの関係は？

オーダリングシステム導入以前は、医師が病名登録用紙に登録していたものを、医事課で病名登録していましたが、導入後は、医師がオーダリングシステムで病名登録し、直ちに医事会計システムに反映するシステムになっています。そのレセプトを磁気ベースでマイティーチェッカーに取り込みます。

## Q. 重視されている機能や特長は？

帳票出力とカスタマイズ機能(\*)です。



病名入力は原則医師が行います。

マイティーチェッカーでは一覧表出力でなくレセプトイメージ出力を行い、問題のあるレセプトを医師に点検してもらっています。レセプトイメージで出力したレセプトを警告分・警告なし分に分け、警告分の中で医師点検分と事務修正分に分けて点検します。警告なし分は、事務点検をし、不備のあるものだけ、再度医師に点検依頼します。

カスタマイズ機能の使用例として、以下の2つが挙げられます。

- i) 医師点検の結果、警告がでないようにするなどマイティーチェッカーに必要情報を組込んだり、修正したりします。
- ii) 事務点検において、査定された項目などに使用する「特定項目チェック」で点検した方がよいものはそのようにし、検査時の病名不要な医薬品の対応など(適応群設定)を行い、医師の点検作業を減らしています。

## Q. 毎月具体的なマイティーチェッカーお使いの手順は？

月の半ば(20~24日前後)に中間のレセプトを医事会計システムで編集し、マイティーチェッカーにかけてレセプトイメージで出力します。それを医師点検と事務点検に分けて点検・修正します。

月初め(1日)も後半のレセプト分に対し、中間と同様の作業をします。

マイティーチェッカーで組み込めなかったもの(指導料算定やコメント入力項目など)は、医事会計システムの診療検索リストなどで抽出し修正します。

統計などは、医事会計システム単独で編集し作成しています。

## 4. その他

千葉県の審査が厳しい中、同県のマイティーチェッカーを導入されている病院様と情報交換ができ、より良い診療報酬請求ができるようにしていければと思います。(勝又係長談)

\*: 医療機関の環境に合わせてデータベースを整備する機能



システム化の現状  
・マイティーチェッカー  
(2006年4月導入)  
・オーダーリングシステム  
(2006年6月導入)  
・電子カルテシステム  
(2007年4月導入)



事務部医事課  
医事課長 三上 彰氏

### 病院の概要

名称: 東邦大学医療センター 佐倉病院  
所在地: 千葉県佐倉市下志津564番地1  
病床数: 451床  
稼働病床数: 344床 (2007年11月現在)